

# 明治薬科大学

2023年3月卒業生

進路就職支援委員会を設置し、日常の相談業務にはキャリア支援課職員が対応します。薬学部のキャリア支援では規模やノウハウなどが充実しています。

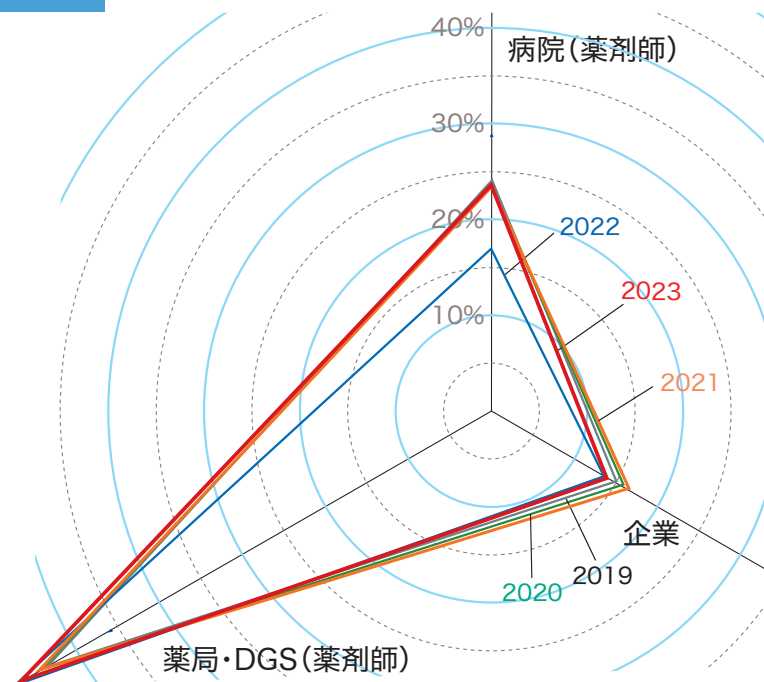
「就職関連資料コーナー」に就職資料を置き、学生は設置されたテーブルで自由に閲覧できる閲覧コーナーを設置しています。学生面談用のカウンターでは、進路の相談のほかエントリーシートや履歴書添削指導なども受けられます。SPI 試験対策および模擬試験、模擬面接にも対応します。

就職ガイダンス、キャリアガイダンス、就職活動体験発表会、企業合同セミナー、薬局合同セミナー、病院合同セミナーなどのイベントも充実しています。

全大学の中でも就職に強い大学として紹介されることが多く、就職率はほぼ毎年100%です。

就職実績で、大学病院や公的病院、大規模医療法人、そして大手製薬企業への就職は、学生の能力やポテンシャルが評価された証です。

また右のレーダーチャートの形が就職の傾向を表します。同大学は、ほぼ一定のパターンを刻み、薬局の比重が高いものの病院・薬局・企業のバランスが取れています。



## ●2023年3月卒業生

病院の就職先は、特定機能病院をはじめ地域の大規模病院、中堅病院などで構成されます。

薬局は、大手のチェーン薬局を中心とした進路です。中には、特色ある地域の薬局もあり、地域貢献も感じられます。

製薬企業への就職は、わずかにポイントを下げましたが、売上上位の企業を中心に就職しています。採用数が減少しているCROは、一定数の学生が就職しており、さすがです。

2023年も就職率が高く100%でした。

病院の病床数に対する薬剤師数の数値は、薬剤師一人当たりの病床数が15を超えると病棟活動が苦しくなるといいます。就職した病院を見ると薬剤師比率「15」を下回る病院が多く、余裕のある病棟活動を行なう病院に就職していることがわかります。

## ●2023年3月卒業生の就職業種・職種

卒業生数	285	1	0	0	0	280	4	66	0	90	82	6	1	1	3	6	0	0	1	13	0	0	1	0	0	0	6	4
進学・就職を希望しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職希望者	285	1	0	0	0	280	4	66	0	90	82	6	1	1	3	6	0	0	1	13	0	0	1	0	0	6	4	
就職者	285	1	0	0	0	280	4	66	0	90	82	6	1	1	3	6	0	0	1	13	0	0	1	0	0	6	4	
就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

### ●就職・主な医療施設

- 相澤病院
- 上尾中央総合病院
- 板橋中央総合病院(イムスグループ)
- イムス板橋リハビリテーション病院
- 北小田原病院(イムスグループ)
- 三愛総合病院(イムスグループ)
- 新松戸中央総合病院(イムスグループ)
- イムス三芳総合病院
- 飯田市立病院
- 岩手県立病院
- 永寿総合病院
- 岡谷市立病院
- 亀田総合病院
- 杏林大学医学部附属病院
- 慶應義塾大学病院
- 社会医療法人社団 順江会 江東病院
- 国立がん研究センター東病院
- 国立国際医療研究センター病院
- 越谷市立病院
- 済生会山形済生病院
- 埼玉医科大学病院
- 彩の国東大宮メディカルセンター
- 指扇病院
- 佐野康生総合病院
- 白岡中央総合病院
- 新久喜総合病院
- JA長野厚生連浅間南麗こもる医療センター

- 順天堂大学医学部附属順天堂病院
- 草加市立病院
- 総合東京病院
- 中部徳洲会病院
- 東京医科歯科大学病院
- 東京医科大学病院
- 東京北医療センター
- 東京慈恵会医科大学付属病院
- 東京女子医科大学付属立足医療センター
- 戸田中央総合病院
- 戸田中央メディカルケアグループ
- 戸塚共立第一病院
- 南部徳洲会病院
- 国家公務員共済組合連合会虎の門病院
- 日本医科大学付属病院
- 日本赤十字医療センター
- 浜松医療センター
- 東川口病院
- 防衛医科大学病院
- 八潮中央総合病院(AMG)
- 横浜市立市民病院

## 明治薬科大学 薬学科

年	卒業生	進学	就職希望	就職者	就職率	病院	薬局	DGS	企業	公務員	未定	希望無/不明							
2012	300	2	298	297	99.7%	88	29.5%	81	27.2%	50	16.8%	64	21.5%	14	4.7%	1	0.3%	0	0.0%
2013	283	5	278	272	97.8%	79	28.4%	71	25.5%	55	19.8%	58	20.9%	9	3.2%	5	1.8%	1	0.4%
2014	288	3	285	283	99.3%	113	39.6%	78	27.4%	34	11.9%	42	14.7%	16	5.6%	2	0.7%	0	0.0%
2015	279	3	276	274	99.3%	103	37.3%	65	23.6%	41	14.9%	45	16.3%	20	7.2%	2	0.7%	0	0.0%
2016	245	3	242	240	99.2%	86	35.5%	78	32.2%	40	16.5%	27	11.2%	9	3.7%	2	0.8%	0	0.0%
2017	281	5	276	270	97.8%	97	35.1%	78	28.3%	47	17.0%	38	13.8%	10	3.6%	6	2.2%	0	0.0%
2018	275	7	268	268	100.0%	77	28.7%	133	49.6%	0	0.0%	42	15.7%	16	6.0%	0	0.0%	0	0.0%
2019	291	5	286	281	98.3%	68	23.8%	153	53.5%	0	0.0%	43	15.0%	17	5.9%	4	1.4%	1	0.3%
2020	265	2	263	263	100.0%	62	23.6%	71	27.0%	81	30.8%	40	15.2%	9	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
2021	298	4	294	293	99.7%	68	23.1%	72	24.5%	90	30.6%	48	16.3%	15	5.1%	1	0.3%	0	0.0%
2022	284	1	282	282	100.0%	48	17.0%	113	40.1%	76	27.0%	38	13.5%	7	2.5%	0	0.0%	1	0.4%
2023	285	1	280	280	100.0%	66	23.6%	90	32.1%	82	29.3%	38	13.6%	4	1.4%	4	1.4%	0	0.0%

薬系進学の就職アンケートには、「就職・進学を希望せず」の項目がありますが、公平を期すため「就職希望者数」は、卒業生数から進学者を減じた数値としています。病院研修生を病院就職者に加えしました。レジデント(有給)が中心になり、採用を前提としたものに変化しているためです。「希望無」は、アンケート項目の「進学・就職を希望しない」です。DGS(ドラッグストア)の数値が「0」の場合、薬局に合算しています。